

ゼオン化成、中国にパウダースラッシュ材料の生産販売会社を設立

2011年4月4日

日本ゼオン株式会社（社長：古河 直純 東京都千代田区）の子会社であるゼオン化成株式会社（社長：小倉 由郎 東京都千代田区）は、江蘇省常熟市「東南経済開発区」に瑞翁化成塑料（常熟）有限公司（以下ZKC）を設立した。2012年初旬に塩化ビニル樹脂（PVC）を原料とするパウダースラッシュ材料（以下PSC）の生産開始を目指す。

ZKCは拡大する中国自動車市場に対応して、安全、安価な自動車内装用材料を現地で供給するために設立、ゼオン化成のPSC開発営業部、日本ゼオンの加工品開発研究所と連携して市場の要請に対応する体制を充実させていく。新工場は発達した交通アクセスに優れ、人材を含めて充実したインフラ環境を背景に国家レベルの自動車部品科学技術基地を目指す常熟市に立地し、第2期2千～3千tの規模で低温特性を改良したPVCパウダースラッシュ材料（PVC/PSC）の生産を開始する。市場の拡大に伴い、第2期3千～4千tの生産規模に拡大していく。


PVC/PSCは低温特性の改良によりインビジブル・エアバッグ・システム用表皮材への適応が可能となった。また、現行材料である熱可塑性ポリウレタンに比べて意匠性・成型加工性に優れ、安価な樹脂であることから大幅なコストダウンが見込まれ、マツダ車における採用を始め、国内外の自動車メーカーで開発採用検討が進んでいる。

PSCの主材料である塩化ビニル樹脂は原料の石油依存度が低く、可塑剤は植物由来の材料を採用しているため、環境にやさしい素材として見直されている。さらに、高級皮革に近い感触が得られることから、欧米地域ではもちろん、中国市場でも大きく注目されている。ゼオン化成はPSC事業のグローバル化の第一歩として、今後拡大する中国市場の生産販売拠点を構築し、中国自動車産業の成長に貢献していく。

<ZKC概要>

- ・ 名称（中国名）：瑞翁化成塑料（常熟）有限公司
（英語名）：Zeon Kasei (Changshu) Co.,Ltd.
- ・ 所在地：江蘇省常熟市「東南経済開発区」内

- 資本金：500万米ドル
- 生産能力：第1期 年産1千～2千トン、第2期 年産3千～4千トン
- 生産品目：パウダースラッシュ用樹脂コンパウンド
- 稼動予定：2012年4月

 本件に関するお問い合わせ

ゼオン化成株式会社 **PSC**開発営業部

Tel：03-5208-5119

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室

Tel：03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)